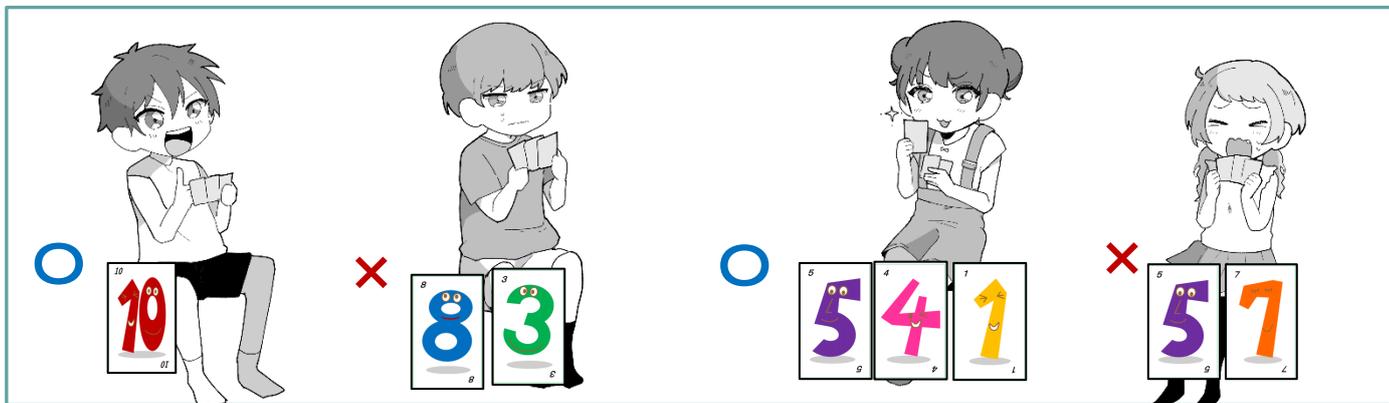


# C209 たして10



しんけいすいじゃくになていいるよ  
 うらがえしのカードをなんまいかめくり、たして10になるようにしよう！  
 さいごに、たくさんカードをもっているひとがかち！



## ★ あそびかた

すべてのカードをうらがえして、かさならないように、ひろげてから、はじめよう

### ① じゅんばんをきめる

さいしょにひとをきめ、つぎからはとけいまわりにじゅんばんをまわす

### ② カードをめくる

うらむきのカードの中から、なんまいかめくり、たしざんをしよう  
 ぴったり10になったら、めくったカードすべてをもらえるよ  
 10をこえたら、めくったカードを、うらがえし、カードはもらえない  
 くわしいルールはどうかをチェック！

カードがなくなるか、のこったカードをたしざんしても10にならなくなるまで、  
 じゅんばんに、②をくりかえそう。  
 さいご、てもちのカードのまいすうが おおいひとがかち！

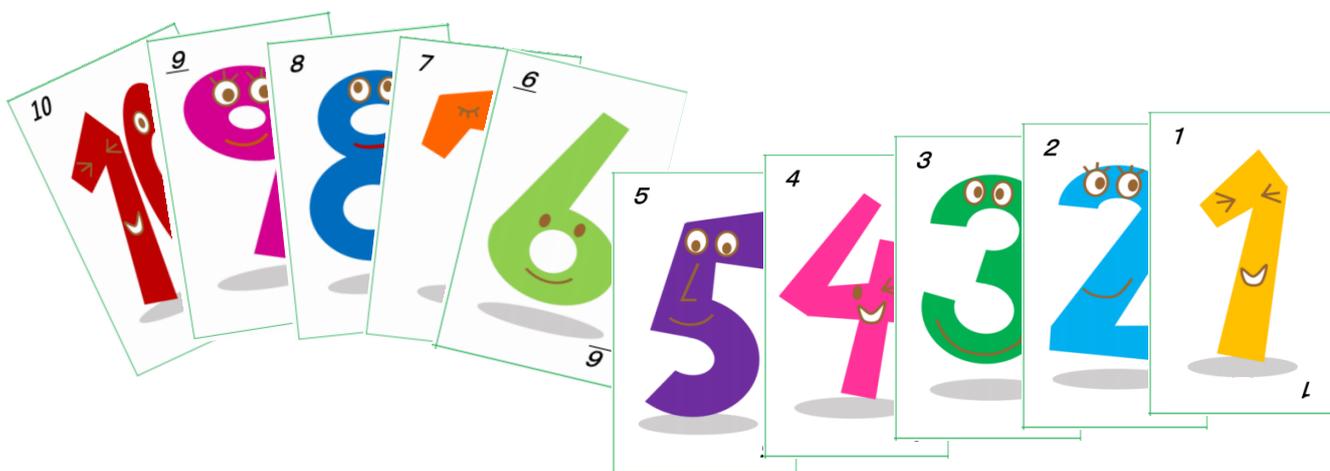


くわしいルールは、つぎのページいこうに のっているよ！ おうちのひとと、いっしょによんでね。



人数 3人～5人  
 時間 30分程度  
 難易度 ★☆☆

# C209 たして10



## ゲーマータイプ



**D:決闘者**  
 他の人よりも多くのカードを集める



**A:達成者**

たして10になる組み合わせを見つけ、多くのカードを集めていく



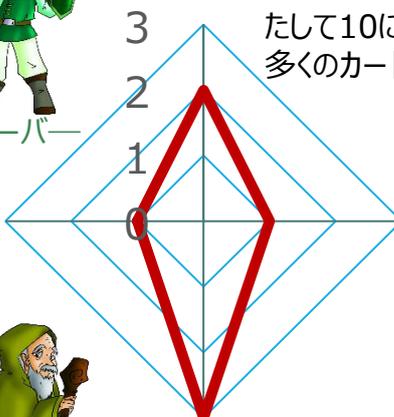
**C:探究者**

たして10になる組み合わせを見つけ場所を覚える



**B:交流者**

カードを順番にめくっていく



# C209 たして10

---



## ゲームの概要

神経衰弱の要領で、裏返したカードをめくり、たして10になるようにします。

記憶力と計算力の両方を刺激します。



## 勝負のつけ方

たして10になったカードはもらえます。最後に手持ちのカードが一番多い人が勝ちです。

# C209 たして10

## 内容物

### カード



1枚



2枚



3枚



4枚



5枚



6枚



7枚



8枚



9枚



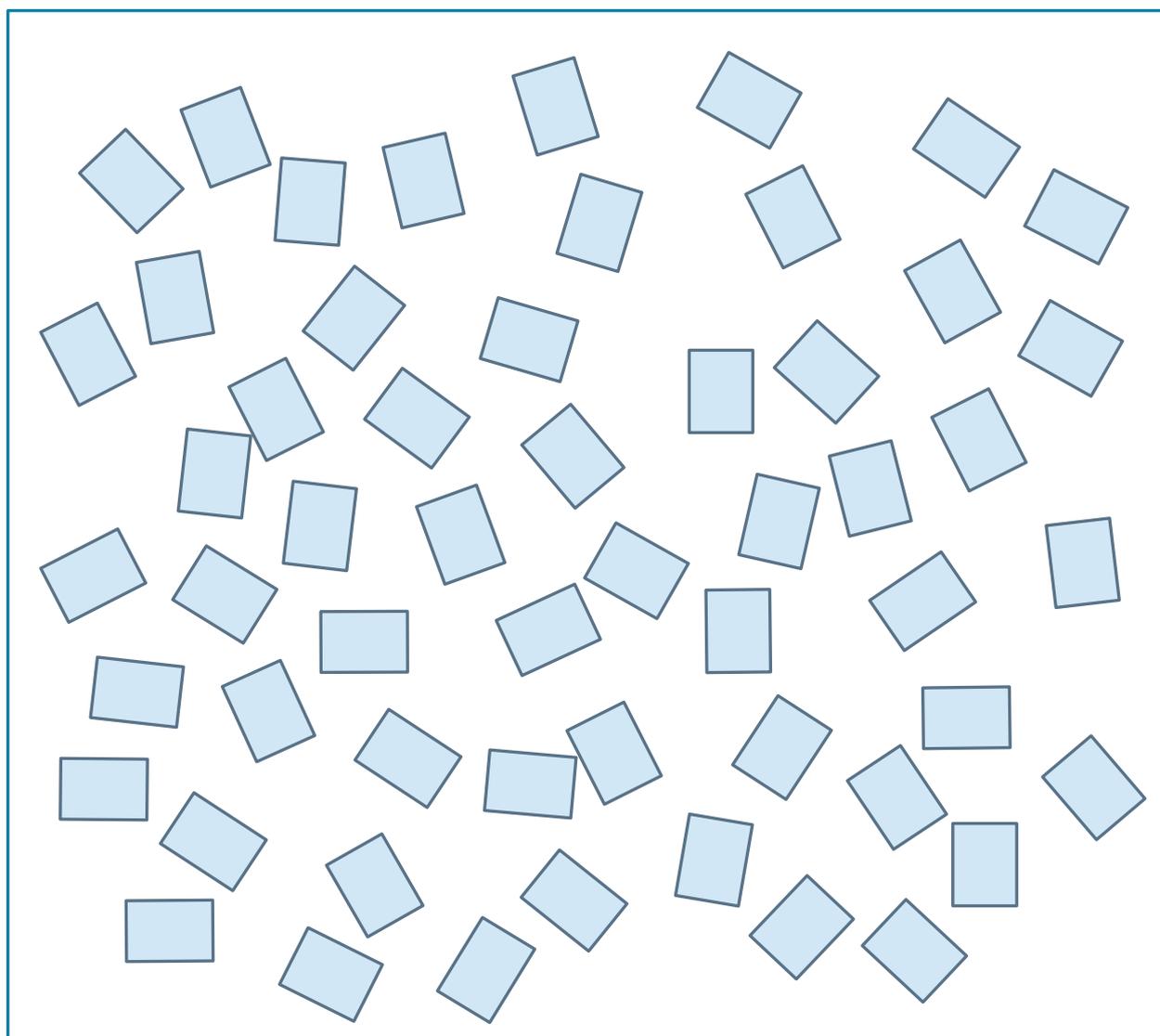
10枚

合計 55枚

# C209 たして10

## 準備

全てのカードを裏返して、広げます。



# C209 たして10

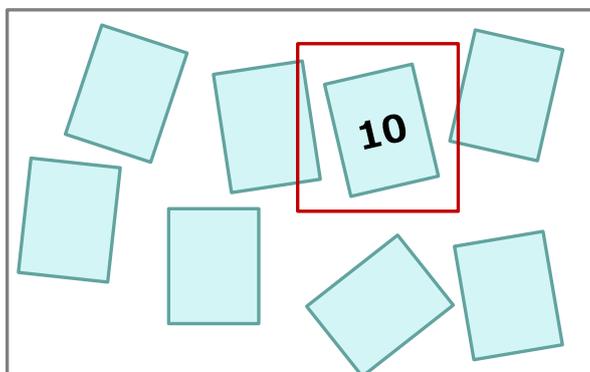
## 遊び方

- ①スタートの人を決めます。（時計回りに順番を回します。）
- ②広がっているカードの中から、1枚ずつめくり、足し算をします。  
ぴったり10になったら、めくったカード全てをもらえます。  
10を超えたら、めくったカード全てを再度裏返します。

### めくり方（例）

- 1枚目が10の時、そのカードをもらい、次の人に交代します。

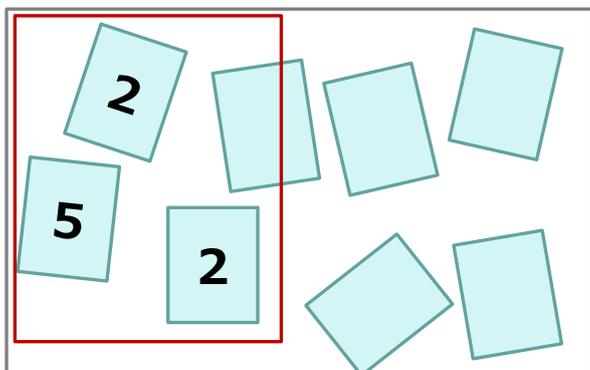
10のカードはもらえる



- めくったカードの合計値が10より小さい時、もう1枚めくります

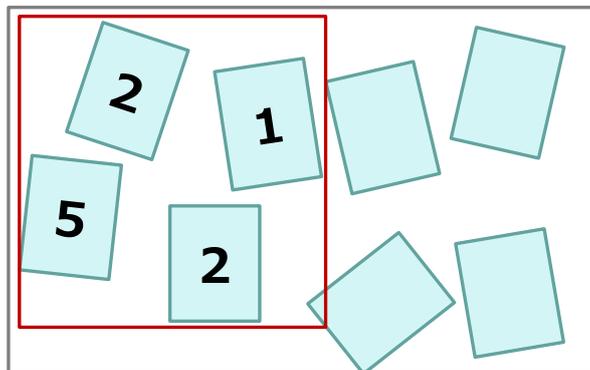
※10または、10より大きくなるまで、何枚でもめくる。

合計は9なので、まだめくる



- めくったカードの合計値がぴったり10になった時、めくったカード全てをもらい、次の人に交代します

合計は10なので、4枚もらえる

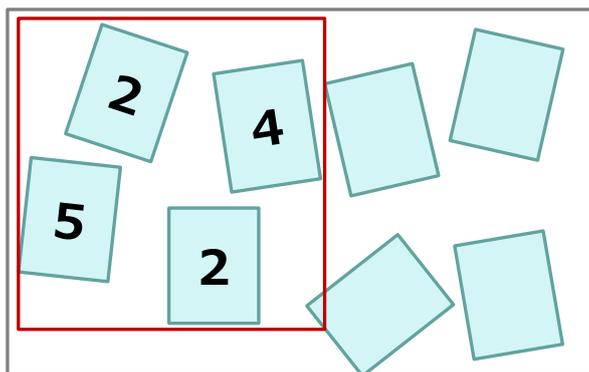


# C209 たして10

## 遊び方（つづき）

### めくり方（例）のつづき

- めくったカードの合計値が10を超えた場合、めくったカード全てを裏返し、次の人に交代します。（カードはもらえません。）

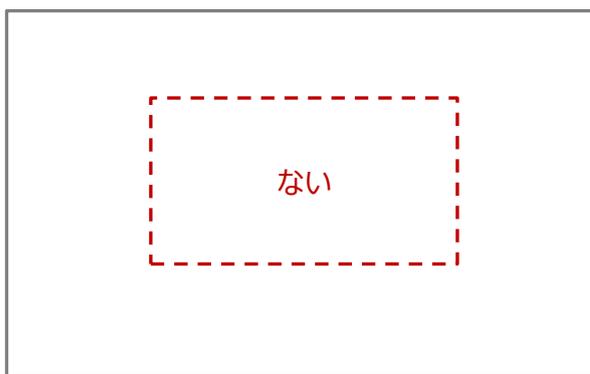


合計は13なので、もらえない  
再度、裏返しにする

これを順番に続けていきます。

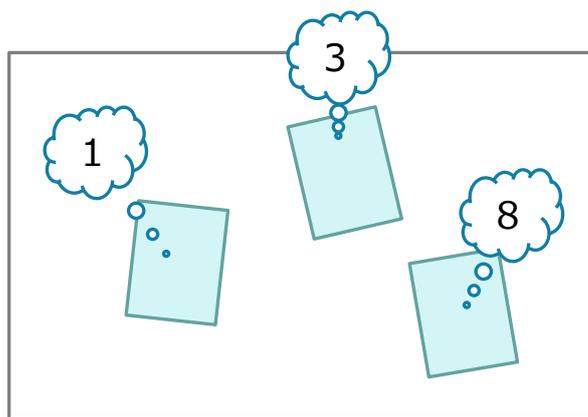
裏返しのカードがなくなるか、残ったカードをどのように足し算しても10にならなくなったら、終わりです。

### 終わり方（例）



ない

裏返しのカードがなくなった



どのように足し算しても10にならない

最後に、手持ちのカードの枚数が一番多い人が勝ちです。

# C209 たして10



## ゲームのコツ、プレイヤーへの支援

- 神経衰弱とよく似ていますが、10以上になるまで何枚もめくるので、完全に覚えていなくても、正解する事ができます。



## アレンジ（案）

- 小さな子供と遊ぶ時は、6以上のカードは使わずに、「たして5」にしてもよいでしょう。
- 高学年や中高生の年長グループで遊ぶときは、足し算だけでなく、四則計算やルート、階乗などを混ぜて10にしても良いとルール変更する事もできます。記憶だけでなく、算数のひらめきを必要とし、さらにおもしろくなります。  
ただし、足し算以外を使う場合は、めくった枚数が4枚以下の時だけにしましょう。  
例： ・「2」「3」「4」をめくった時 …  $2 \times 3 + 4 = 10$  となる  
      ・「7」「9」をめくった時 …  $7 + \sqrt{9} = 10$  となる など
- ルールを一部変更し、正解した時は次の人に交代せず、失敗するまでめくりつづける